

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（018） 学校名 豊田市立竹村小学校

1 テーマ

「互いに認め合い、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成」
—地域との絆を大切に—

2 ねらい

- ・身近な校区の自然や地域で活躍する人との交流活動を通して、地域とのかかわりを深め、「WE LOVE 竹村」の心を育てる。
- ・専門家との協働による授業や活動を通して、自ら課題を見付け、人とのかかわり合いの中から問題を解決する方法を学び、自分の生き方につなげる子どもを育てる。
- ・お互いを認め合い進んで友達と楽しく運動に取り組むことで、体力向上を図るとともに、自他の命と健康を守り、丈夫でたくましい子どもを育てる。

3 活動内容

- ・総合的な学習の時間や生活科を中心に、地域の<ひと・もの・こと>とつながる学習の充実
- ・子どもたちが自ら考え、仲間とともに課題を解決する学習の展開
- ・心を耕す活動や体を鍛える活動を行事や日々の授業の中で展開し、安全な環境の中で、豊かな心を育み、体力の向上をめざす。

4 成果と課題

- ・専門家との協働による学習活動は、体験を通してふるさとに触れることができ、その結果、ふるさとを愛し、ふるさとを守ろうとする態度を培うことができた。
- ・豊かな田園地帯にあり、校区内に農事組合“若竹”がある。5年生にとって、田んぼに入って苗を植え、鎌を使って稲を刈るなど、食育、キャリア教育にもつながる貴重な体験となった。ただし、校舎北側の歩いて1分とかけられない田んぼでの体験であったが、次年度以降宅地への造成が始まり同じ場所での実施は難しい。今後の実施方法について検討する必要がある。(5年生 営農センター・若竹会講師、田植え・稲刈り各6名)
- ・竹ボラさんによる野菜指導を直接受けることで体験を通して専門的な知識を得ると共に地域とのネットワークを深めることができた。(竹ボラ18名)
- ・豊田工科高校とのペットボトルロケット製作の交流では、楽しい時間を過ごすだけでなく、将来についても考える機会となった。(4年生)
- ・体力向上補助指導員の専門性を生かした指導や授業に合わせた教具の採用、遊具を使ったサーキットトレーニング、体育委員会による「体を動かそう週間」や「ジャンプジャンプウィーク」などの取組により、楽しく体を動かす活動を継続した。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページを毎日更新し、特色ある学校づくり推進事業に関わる行事や体育の授業の様子など各学年の取組を紹介した。